残業ゼロで成果を上げる仕事術

～自分でできる働き方改革～

報告

平成29年11月9日（木）、NPO法人ファザーリングジャパンのファウンダー/代表理事の安藤哲也さんをお迎えして、働き方改革に関する講座を開催しました。

前半は【理論編】として、これからの働き方の基盤となる「ワーク・ライフ・バランス」の必要性やその鍵である「イクボス」の在り方を具体的にお話くださいました。

後半の【実践編】では、安藤さんのご著書や勤めていた会社でのたくさんのエピソードをもとに、忙しい毎日を一変させる仕事術を伝授してくださいました。

講師プロフィール

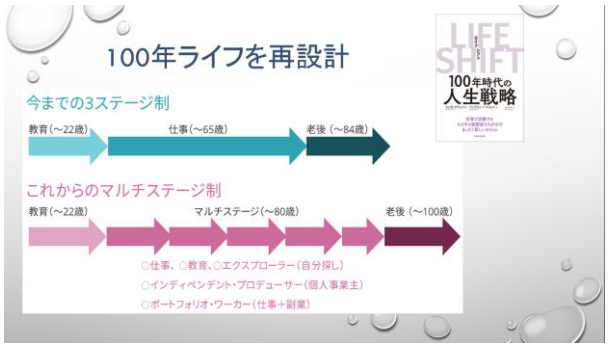
1962年生。出版社、IT企業など９回の転職を経て、2006年に父親支援のNPO法人ファザーリング・ジャパンを設立。「笑っている父親を増やしたい」と講演や企業向けセミナー、絵本読み聞かせなどで全国を歩く。最近は管理職養成事業の「イクボス」で企業・自治体での研修も多い。厚生労働省「イクメンプロジェクト推進チーム」顧問、にっぽん子育て応援団 共同代表等も務める。
著書に『できるリーダーはなぜメールが短いのか』（青春出版社）『パパの極意～仕事も育児も楽しむ生き方』（NHK出版）など多数。３児の父親。

講師:NPO法人ファザーリングジャパン
ファウンダー/代表理事
安藤　哲也　さん

【講座内容紹介】

安藤さんは、今回のような講演会を年間に250回も行っているため、東京都と地方を行き来する毎日を送っています。また、共働きでもあるため、子どもたちは地域の方々に守ってもらわなくてはならないと考え、地域の活動やＰＴＡ活動にも積極的に取り組んでいるそうです。

Ｗｏｒｋ（しごと）・Ｌｉｆｅ（自分ごと）・Ｓｏｃｉａｌ（社会ごと）の３つそれぞれが本業であるとし、全てを充実させる時間と活力を得るためにもワーク・ライフ・バランスを実践されています。また、日本が世界最先端の「超高齢社会」であることから『誰かが決めたレールの上を歩くのはこれからの時代では危ない』『自分の人生のオーナーは自分だ』という考えに至り、人生をより充実させるために“**ライフシフト**”を推奨されています。



【ライフシフト　１０か条】

①【Ownership】　自分の人生の主人公は自分であると自覚していること
②【Life Theme】　その時々の自分のライフテーマを追求していること
③【Just Do It】　人生に起きる変化を楽しんで、事を起こしていること
④【Learnability】　どんなことも学んでいること
⑤【Unlearn ability】　学んだことを捨てられる勇気を持っていること
⑥【Uniqueness】　みんなと同じじゃなくても平気なこと
⑦【Multi Community】　３つ以上のコミュニティに所属していること
⑧【Seamless】　有意義に公私混同していること
⑨【Invisible Assets】　「見えない資産」を大切にしていること
⑩【Time Management】　自分の人生時間を自分でマネジメントしていること

【安藤さんのご著書紹介】

仕事の進め方をどのように変えればより効率的な業務を行えるのか、チームを支えるリーダーのあるべき姿などが記されています。

コムズ２階の図書コーナーで貸出をしていますので是非お立ち寄りください。

【当日の様子】

【参加者の声】

一番感動したのは、社員を大切にする安藤さんの心・姿勢でした。私は取締役ですが、自社の社長・役員にも受講してもらいたいと強く思いました。
自分だけではなく、役員・社員・企業としての見直しを行っていきたいです。（経営者/60代/女性）

安藤さんと一緒に仕事をされている方が大変うらやましいです。
ライフとワークのバランスがとれた生活を今後送れるよう努力したいと思います。
(技術指導者/50代/女性)

「人生100年時代」と聞くと不安でしかなかったのですが、自分のライフイベントを楽しむ方法・マルチステージを充実させる方法を見つけることが出来ました。
(一般社員/30代/女性)

たくさんの事例、安藤さんのお人柄で働き方改革や多様性を生かすことをポジティブに考えることが出来ました。(管理職/40代/女性)

話の展開・聴かせ方が巧みで引き込まれました。体験されたことについての生の声が聴けたのは非常に貴重でした。(40代/女性)